

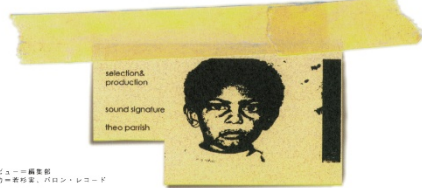
各 位

2026 年 8 月 17 日
株式会社リットーミュージック

大好評を博したサンレコ・アーカイブス・シリーズ第 2 弾！
『90's テクノ・アーカイブス サンレコ & GROOVE 総集版』8 月 24 日（月）発売



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『90's テクノ・アーカイブス サンレコ & GROOVE 総集版』を、2026 年 8 月 24 日に発売します。



インタビュー＝編集部
取材協力＝若杉実、バロン・レコード

デトロイトの異才、セオ・パリッシュ怒濤の25,000字インタビュー!
テクノを、ハウスを、そしてブラック・ミュージックの定説をめった斬り!?

ようやく、セオ・パリッシュのインタビューを本誌読者にもお届けすることができた。……思えば長い道のりでした(笑)。これまで数度インタビューのオファーを断られた。その理由の恨めも手伝て「冗談です」とも答えては、2500年近くと及ぶ待たせアリウム。Peaceforceからのファースト・アルバム「ファースト・フロア」に続く期待のセカンド「バグダッド・ディメンション」は自身のレベル。Sound Signatureからリリースされる7月に輸入盤店等で購入できたらどうが。このアルバムは話術に、摩訶不思議なドロイト・サウンドを。そしてセオ・パリッシュという真実の秘密に迫る。

曲はすべて、Sound Signatureから出すという前提の下に作られた曲だ

新しいアルバムについて。前作の『First Floor』もアルバムと、今作で最も異なる点はどこでしょうか。また、アルバム・コンセプト等もあれば教えてください。

「最大の違いは、『First Floor』が自分自身のレベルではなく、適当な女性にイメージされたアルバムだったという点です。今回のアルバムに収録されている8曲はすべて、昔年のレベル、Sound Signatureがはじまるという以前までの下で作られた曲です。それに上り『First Floor』に収録されたという点。これは、PeaceMakerのために作った曲ではなかったから、実際に現場でして作られた曲だということです。アルバムとしてのコンセプトがなかったという点も。ただ、リリースまでにシンキングし直し、それを決定させたという内容の未発表楽曲が、十分にアルバムというクォリティと定まるとされるからです。と、私個人としてはまだアルバムだっただけ。話を戻せば、今作は自分自身レベルからリリースするもののアルバムを作る」という前提で作られた。というのが前作との大きな違いなところだ。

[illegible][illegible]

セオ・パブリッシュ/CRCOW 2000年7月号 119

Special Talk Session

Hiroko Yamamura × Risa Taniguchi

世代を超える テクノのグルーヴ

ここからは本誌だけのスペシャルな対談をお届けする。登場していただくのは、アメリカ在住のプロデュース／DJで90'sテクノをリアルタイムで体感したHiroko Yamamuraと、日本を拠点にグローバルな活躍を見せるRisa Taniguchi。2026年5月には共にUSツアーを行うなど、異なる世代でありながら親しい関係の彼女たちにとって、90'sテクノとはどのような存在なのだろうか？ USツアーを終えたばかりの二人に、たっぷり話を伺った。

Hiroko Yamamura

Photo) ショゴのサイド・オブ・ア・タイ・スタイルのEP/プロデューサー。彼は、*Thax Records*, *Impact Mechanics*, *Slip-Jack*, *Meet It* といったレーベルを運営し、活動している。2024年、2025年と、2年連続で RJI ROCK FESTIVAL に出演し、プロデューサーに帯りするのを楽しみにしている。

Risa Taniguchi

【PR】映画東京お宝の3Dプロデューサー、2024年にドイツのCineS Imagingが主宰する国際レベル、CICAよりリリースされたThe Lost Days of Jeppia Scene (LostJeppiaScene)のテーマで1巻を編纂するなど、日本を代表する3Dプロデューサーの一人として国内外の映画界に活躍している。



■書誌情報

書名：90's テクノ・アーカイブス サンレコ & GROOVE 総集版

定価：2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）

発売：2026 年 8 月 24 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3126221002/>

1990年代に隆盛を極めた テクノ・アーティストたちのインタビュー集

昨年夏の発売後、即重版を記録し大好評を博した『エレクトロニカ・アーカイブス 1997-2010 サンレコ総集版』。その待望の第2弾となるサンレコ・アーカイブス・ムックが登場します！ 今回のテーマは、「1990年代テクノ」です。

『90'sテクノ・アーカイブス サンレコ & GROOVE総集版』と題した本書には、1990年代を代表するテクノ・アーティストたちの貴重な記事を一挙収録。世界を席卷したアンダーワールドやケミカル・ブラザーズをはじめ、オービタル（UK）、ハードフロア（ドイツ）といったヨーロッパ勢、さらにはジェフ・ミルズ、ホアン・アトキンスなどのデトロイト・テクノ勢まで網羅しています。

アーカイブ元は、1990年代の『サウンド＆レコーディング・マガジン』にとどまらず、クラブ・ミュージック専門誌『GROOVE』や『キーボード・マガジン』からも厳選ピックアップ。当時のシーンをより多角的に掘り下げます。

さらに、本書のために書き下ろされた新規コンテンツも掲載。テクノ・プロデューサーとしてTRESORなどの名門からリリースを行ったChester Beattyによる、機材を中心としたイントロダクション・コラム『1990年代、テクノの夜明け』、さらにグローバルなクラブ・シーンで活躍するDJ／プロデューサー、Hiroko YamamuraとRisa Taniguchiの対談『世代を超えるテクノのグルーヴ』は必見です。

昨今、リバイバルとしてにわかに盛り上がりを見せる90'sテクノ。当時のトップ・クリエイターたちは何を考え、どのように独自のサウンドを生み出していたのか。ぜひ本書を手にとって、その熱気と創造性を感じてみてください。

CONTENTS

< Introduction >

1990 年代、テクノの夜明け by Chester Beatty

< Special Talk Session >

Hiroko Yamamura × Risa Taniguchi 世代を超えるテクノのグルーヴ

< Interview Archives >

アンダーワールド／GROOVE 1996 年 6 月号

アンダーワールド／GROOVE 1999 年 3 月号

アンダーワールド／サウンド＆レコーディング・マガジン 1999 年 4 月号

アンダーワールド（ライブ・レポート）／サウンド＆レコーディング・マガジン 1999 年 6 月号

ケミカル・ブラザーズ／GROOVE 1997 年 3 月号

ケミカル・ブラザーズ／サウンド＆レコーディング・マガジン 1999 年 8 月号

プロディジー／サウンド＆レコーディング・マガジン 1994 年 11 月号

プロディジー／GROOVE 1997 年 9 月号

オービタル&システム 7／サウンド＆レコーディング・マガジン 1994 年 7 月号

オービタル／キーボード・マガジン 1994 年 7 月号

オービタル／サウンド＆レコーディング・マガジン 1996 年 7 月号

808 ステイト／サウンド＆レコーディング・マガジン 1993 年 2 月号
LFO／サウンド＆レコーディング・マガジン 1996 年 2 月号
アレックス・パターソン（ジ・オーブ）／サウンド＆レコーディング・マガジン 1996 年 10 月号
ファットボーイ・スリム／サウンド＆レコーディング・マガジン 1998 年 11 月号
ルーク・スレーター／サウンド＆レコーディング・マガジン 1999 年 11 月号
ベースメント・ジャックス／GROOVE 1999 年 7 月号
アンディ・ウェザオール／GROOVE 1999 年 1 月号
ウエストバム／サウンド＆レコーディング・マガジン 1998 年 7 月号
ハードフロア／サウンド＆レコーディング・マガジン 1998 年 1 月号
ハードフロア／サウンド＆レコーディング・マガジン 1998 年 12 月号
マイク・ヴァン・ダイク／サウンド＆レコーディング・マガジン 1998 年 5 月号
マイク・ヴァン・ダイク＆トーマス・シューマッハ／GROOVE 1999 年 6 月号
フランク・ムラー／サウンド＆レコーディング・マガジン 1999 年 9 月号
サン・エレクトリック／サウンド＆レコーディング・マガジン 1997 年 3 月号
フロント 242／サウンド＆レコーディング・マガジン 1991 年 2 月号
ダフト・パンク／サウンド＆レコーディング・マガジン 1997 年 8 月号
スピーディーJ／サウンド＆レコーディング・マガジン 1994 年 12 月号
ジェフ・ミルズ／GROOVE 1997 年 6 月号
ジェフ・ミルズ／サウンド＆レコーディング・マガジン 1997 年 7 月号
ジェフ・ミルズ／GROOVE 1999 年 3 月号
ホアン・アトキンス／キーボード・マガジン 1995 年 12 月号
DJ ピエール／サウンド＆レコーディング・マガジン 1994 年 10 月号
リッチー・ハウティン／サウンド＆レコーディング・マガジン 1995 年 8 月号
ケニー・ラーキン／サウンド＆レコーディング・マガジン 1995 年 9 月号
カール・クレイグ／GROOVE 1999 年 1 月号
デリック・メイ／サウンド＆レコーディング・マガジン 1994 年 10 月号
デリック・メイ／サウンド＆レコーディング・マガジン 1996 年 8 月号
セオ・パリッシュ／GROOVE 2000 年 7 月号

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド＆レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー＆クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp